

上サロベツ自然再生協議会

第 1 3 回 協 議 会

資 料

平成 2 5 年 2 月 7 日

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

目 次

1.	第5期上サロベツ自然再生協議会会員の応募結果	
1-1	応募結果	1
1-2	第5期構成員名簿	1
2.	上サロベツ自然再生協議会の経緯	5
3.	各部会の開催概要	
3-1	再生技術部会の開催概要	9
3-2	再生普及部会の開催概要	10

1. 第5期上サロベツ自然再生協議会会員応募結果

1-1 応募結果

上サロベツ自然再生協議会規約第5条に基づき、協議会会員の任期満了(平成25年1月)に伴い、第5期目の会員募集を平成24年11月8日から11月22日まで行いました。

その結果、個人会員2名、団体2つが退会されました。また、個人会員1名がご逝去されました。関係行政機関では、今まで、北海道森林管理局と宗谷森林管理署と別々に会員として参加していましたが、林野庁北海道森林管理局として1つの行政機関としてまとめることとなり1機関の減となっています。

新規は個人6名の応募があり、第5期(平成27年1月)までの会員は、以下に示すように47名(団体等含む)となりました。

	個人	団体	関係行政機関	その他関係機関	計
第4期	24名	11団体	7機関	5機関	47名
第5期	27名	9団体	6機関	5機関	47名

1-2 第5期 上サロベツ自然再生協議会 会員名簿

■個人 (27名)

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 在 地
芦 田 孝	旭 川 市
井 上 京	札 幌 市
伊 藤 輝之	稚 内 市
稲 垣 紘順	幌 延 町
稲 垣 順子	幌 延 町
鷓 木 啓二	札 幌 市
梅 田 安治	札 幌 市
遠 島 幸吉	稚 内 市
岡 田 操	札 幌 市
神 谷 光彦	札 幌 市
下 村 孝一	稚 内 市
清 水 一	中 川 町
進 藤 哲	豊 富 町
田 中 美佐保	稚 内 市
高 橋 英紀	札 幌 市
橘 治 国	札 幌 市
谷 垣 重遠	稚 内 市
土 谷 貴宏	札 幌 市
中 山 博敬	札 幌 市
西 島 今朝悟	豊 富 町
平 田 善二	札 幌 市
藤 村 善安	つ く ば 市
富士田 裕子	札 幌 市
丸 山 立一	札 幌 市
村 元 正己	豊 富 町
山 田 雅仁	千 葉 県
山 形 雅弘	豊 富 町

■団体（9団体）

（敬称略、五十音順）

団 体 名	代 表 者 名
石塚建設興業株式会社	代表取締役社長 石塚 英資
株式会社日興ジオテック	代表取締役 小山 重芳
株式会社ライヴ環境計画	代表取締役社長 有山 忠男
サロベツ農事連絡会議	議長 山本 寿昭
特定非営利活動法人地域自然情報ネットワーク	理事長 亀山 章
特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
特定非営利活動法人サロベツ・エコネットワーク	代表理事 高瀬 清
日比谷総合設備札幌支店	部長 金子 伸紀
利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会	豊富部会長 吉村 譲滋

■関係行政機関（6機関）

（敬称略）

機 関 名	代 表 者 名
国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部	部 長 難波江 完三
国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部	部 長 許士 裕恭
環境省 北海道地方環境事務所	所 長 出江 俊夫
林野庁 北海道森林管理局	局 長 津元 頼光
北海道 宗谷総合振興局	局 長 吉田 浩史
豊富町	町 長 工藤 栄光

■その他関係機関（5団体）

（敬称略、五十音順）

団 体 名	代 表 者 名
北るもい漁業協同組合	代表理事組合長 今 隆
豊富町観光協会	会 長 西森 功
豊富町商工会	会 長 細川 正明
豊富町農業委員会	会 長 須藤 信雄
北宗谷農業協同組合	代表理事組合長 石川 岳志

上サロベツ自然再生協議会 構成員：47名

上サロベツ自然再生協議会 各部会構成員

■個人

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 在 地	部 会 名	
		再生技術	再生普及
芦 田 孝	旭 川 市	○	○
井 上 京	札 幌 市	○	—
伊 藤 輝之	稚 内 市	—	○
稲 垣 紘順	幌 延 町	—	○
稲 垣 順子	幌 延 町	—	○
鵜 木 啓二	札 幌 市	○	
梅 田 安治	札 幌 市	—	—
遠 島 幸吉	稚 内 市	○	—
岡 田 操	札 幌 市	○	○
神 谷 光彦	札 幌 市	○	○
下 村 孝一	稚 内 市	○	—
清 水 一	中 川 町	○	—
進 藤 哲	豊 富 町	○	—
田 中 美佐保	稚 内 市	○	○
高 橋 英紀	札 幌 市	○	○
橘 治 国	札 幌 市	○	○
谷 垣 重遠	稚 内 市	○	○
土 谷 貴宏	札 幌 市	○	—
中 山 博敬	札 幌 市	○	—
西 島 今朝悟	豊 富 町	○	○
平 田 善二	札 幌 市	○	—
藤 村 善安	つ く ば 市	○	—
富 士 田 裕子	札 幌 市	○	—
丸 山 立一	札 幌 市	○	—
村 元 正己	豊 富 町	○	○
山 田 雅仁	千 葉 県	—	○
山 形 雅弘	豊 富 町	○	○

■団体

団 体 名	部 会 名	
	再生技術	再生普及
石塚建設興業株式会社	—	○
株式会社日興ジオテック	—	○
株式会社ライヴ環境計画	○	○
サロベツ農事連絡会議	○	○
特定非営利活動法人地域自然情報ネットワーク	○	○
特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	○	○
特定非営利活動法人サロベツ・エコ・ネットワーク	○	○
日比谷総合設備札幌支店	○	—
利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会	○	○

■関係行政機関

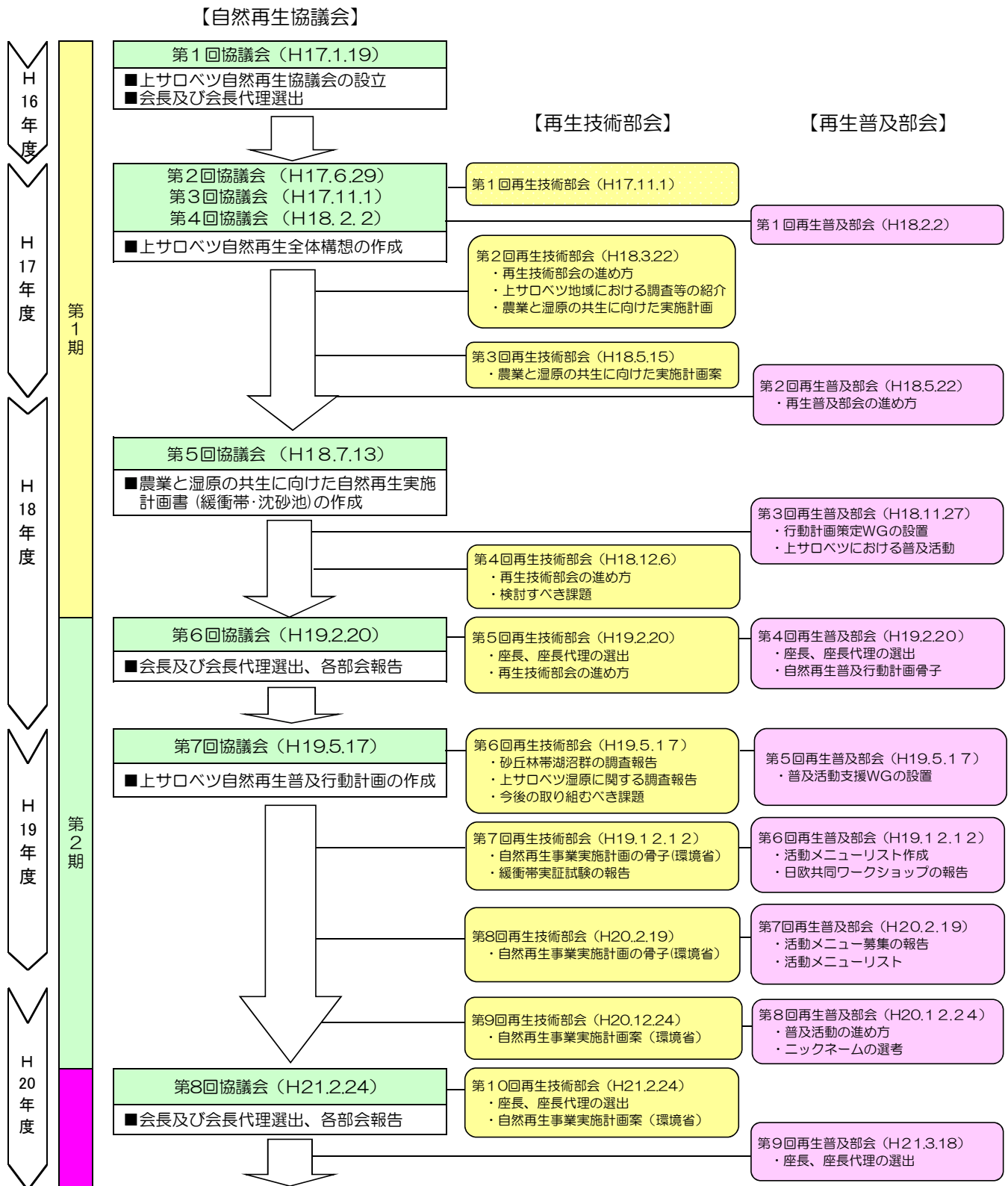
機 関 名	部 会 名	
	再生技術	再生普及
国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部	○	○
国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部	○	○
環境省 北海道地方環境事務所	○	○
林野庁 北海道森林管理局	○	○
北海道 宗谷総合振興局	○	○
豊富町	○	○

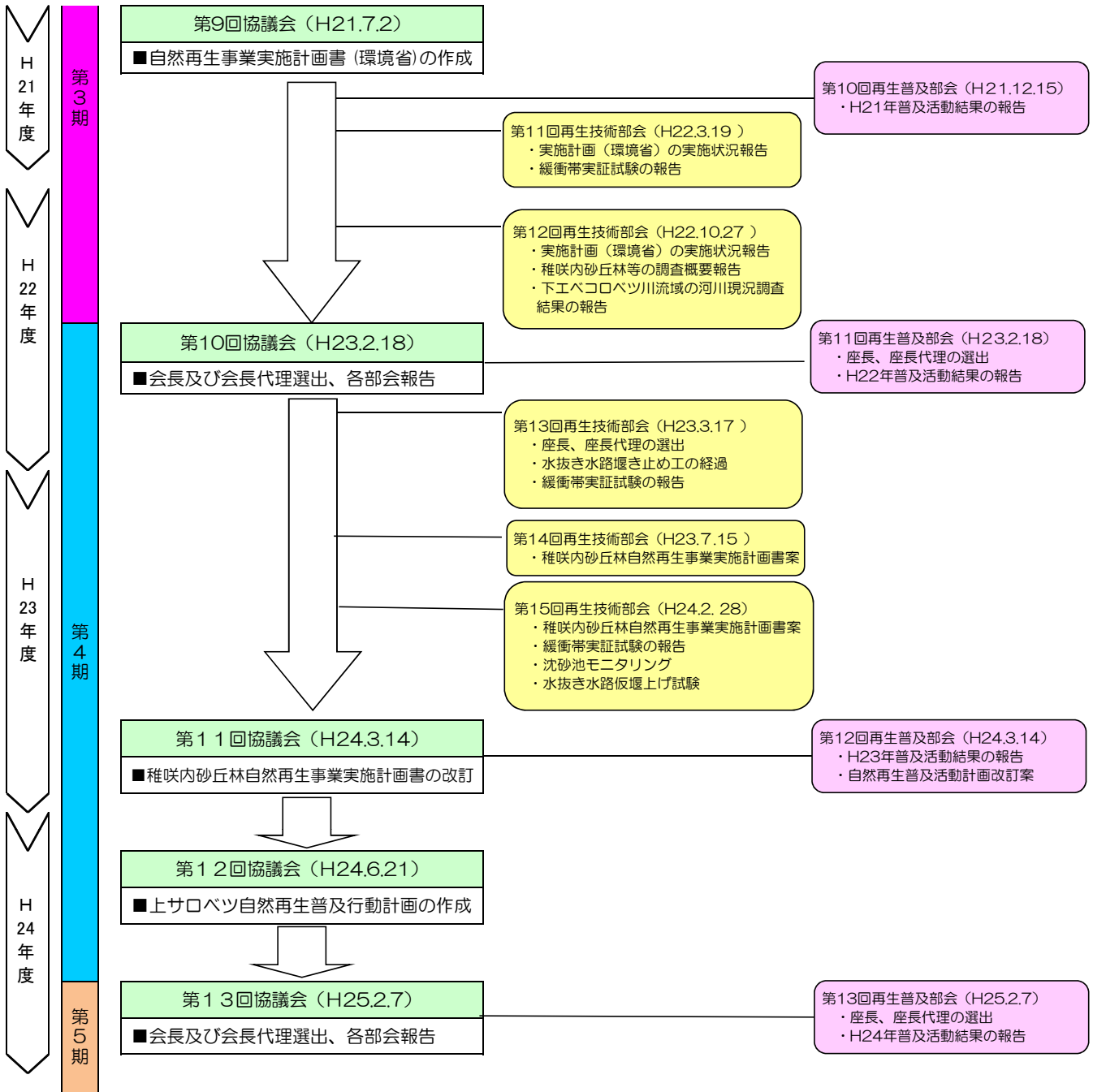
■その他関係機関

機 関 名	部 会 名	
	再生技術	再生普及
北るもい漁業協同組合	○	—
豊富町観光協会	○	○
豊富町商工会	○	○
豊富町農業委員会	○	—
北宗谷農業協同組合	○	○

上サロベツ自然再生協議会 各部会構成員	40	31
---------------------	----	----

2. 上サロベツ自然再生協議会の経緯





上サロベツ自然再生協議会

上サロベツ自然再生協議会は、自然再生推進法に基づき平成17年に設立されました。協議会には、技術的手法に関する事項を扱う再生技術部会と、普及活動に関する事項を扱う再生普及部会が設置されています。

平成18年は、「上サロベツ自然再生全体構想」と「農業と湿原の共生に向けた自然再生実施計画書」、平成19年に「上サロベツ自然再生普及行動計画」、平成21年に「自然再生実施計画書」（環境省）、平成24年に「稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画」が作成されました。また、「上サロベツ自然再生普及行動計画」は平成24年に改訂されています。

【協議会等の開催状況】

年 月	協 議 会	備 考
平成17年 1月 6月 11月	第1回上サロベツ自然再生協議会 第2回上サロベツ自然再生協議会 第3回上サロベツ自然再生協議会 第1回再生技術部会	上サロベツ自然再生協議会の設立
平成18年 2月 3月 5月 7月 11月 12月	第4回上サロベツ自然再生協議会 第1回再生普及部会 第2回再生技術部会 第3回再生技術部会 第2回再生普及部会 第5回上サロベツ自然再生協議会 第3回再生普及部会 第4回再生技術部会	上サロベツ自然再生全体構想の作成 農業と湿原の共生に向けた自然再生実施計画書の作成
平成19年 2月 5月 12月	第6回上サロベツ自然再生協議会 第4回再生普及部会 第5回再生技術部会 第7回上サロベツ自然再生協議会 第5回再生普及部会 第6回再生技術部会 第6回再生普及部会 第7回再生技術部会	第2期協議会の始動 上サロベツ自然再生普及行動計画の作成
平成20年 2月 12月	第7回再生普及部会 第8回再生技術部会 第8回再生普及部会 第9回再生技術部会	
平成21年 2月 3月 7月 12月	第8回上サロベツ自然再生協議会 第10回再生技術部会 第9回再生普及部会 第9回上サロベツ自然再生協議会 第10回再生普及部会	第3期協議会の始動 自然再生実施計画書(環境省)の作成

平成22年 3月 10月	第11回再生技術部会 第12回再生技術部会	
平成23年 2月 3月 7月	第10回上サロベツ自然再生協議会 第11回再生普及部会 第13回再生技術部会 第14回再生技術部会	第4期協議会の始動
平成24年 2月 6月	第15回再生技術部会 第11回上サロベツ自然再生協議会 第12回再生普及部会 第12回上サロベツ自然再生協議会	稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書の作成 上サロベツ自然再生普及行動計画の改訂
平成25年 2月	第12回上サロベツ自然再生協議会 第13回再生普及部会	第5期協議会の始動

3. 各部会の開催概要

3-1. 再生技術部会の開催概要

(1) 第10回協議会 (H23. 2. 18) 【第4期】以降の動き

第13回 (H23. 3. 17)

水抜き水路堰き止め工の経過について報告

緩衝帯実証試験の報告

沈砂池モニタリングについての報告

第14回 (H23. 7. 15)

稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書(案)の検討・協議

第15回 (H24. 2. 28)

稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書(案)の検討・協議

緩衝帯実証試験の報告

沈砂池モニタリングについての報告

水抜き水路仮堰上げ試験の報告

サロベツ原生花園園地跡地の状況について報告

泥炭採掘跡地植生回復試験について報告

(2) 各種計画

① 農業と湿原の共生に向けた自然再生実施計画書(緩衝帯・沈砂池)

H18. 7. 13 本協議会承認

実施者：豊富町・サロベツ農事連絡会議・稚内開発建設部

- 1) 緩衝帯：農用地と湿原が直接隣接する箇所内、湿原の地下水位に影響をおよぼしていると推察される農用地側に緩衝帯を設置し、湿原の乾燥化を抑制する。
- 2) 沈砂池：整備する農業用排水路に設置する沈砂池を適正に維持管理することで、農用地から流出する土砂を軽減する。

② 上サロベツ自然再生事業実施計画書(環境省) H21. 7. 2 本協議会承認

実施者：環境省北海道地方環境事務所

- 1) サロベツ川放水路南側湿原周辺の乾燥化対策
- 2) ササの侵入抑制対策
- 3) サロベツ原生花園園地跡地の修復
- 4) 泥炭採掘跡地等の再生

③ 稚咲内砂丘林自然再生事業実施計画書 H24. 3. 14 本協議会承認

実施者：林野庁北海道森林管理局

- 1) 砂丘林帯湖沼群の水位低下の抑制
- 2) 砂丘林の修復及び保全

3-2. 再生普及部会の開催概要

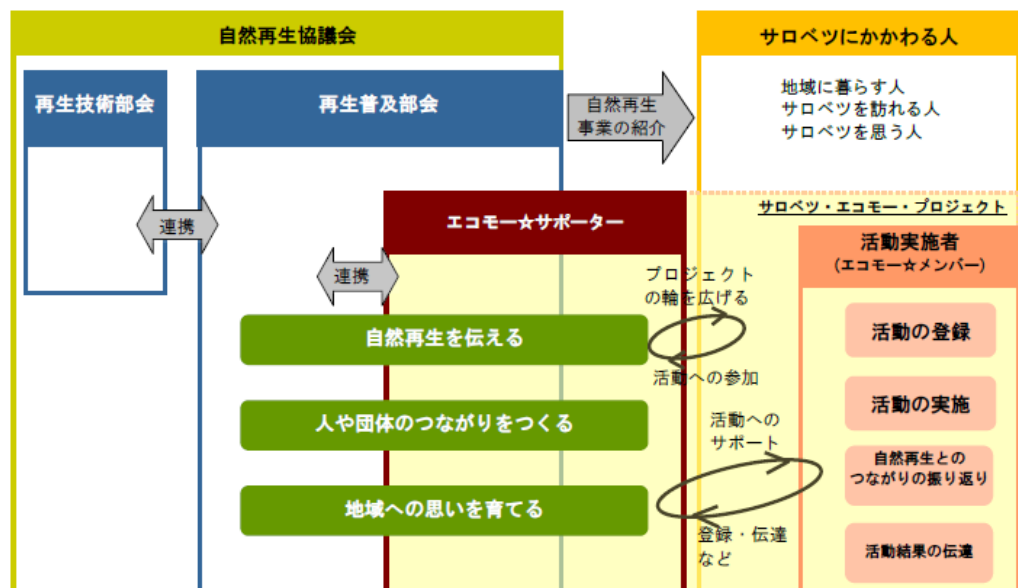
- (1) 第10回協議会（H23.2.18）以降の動き
 第11回（H23.2.18）H22年度普及活動結果の報告
 第12回（H24.3.14）H23年度普及活動結果の報告
 上サロベツ自然再生普及行動計画（改訂）の検討・協議

- (2) 上サロベツ自然再生普及行動計画 H19.5.17 本協議会承認
 H24.3.14 本協議会承認（改訂）

1) 目的

上サロベツ自然再生普及行動計画は、「自然再生を伝える」、「人や団体のつながりをつくる」、「地域への思いを育てる」の3つの役割を掲げ、「上サロベツ自然再生全体構想」に基づき、地域全体での協力した取り組みや環境教育の視点、や地域産業の再生・発展のための取り組みなどを持続的に推進することを目的としている。

2) 自然再生普及活動の進め方



3) サロベツ・エコモー・プロジェクト

(エコ (ECOLOGY) + モー (ウシ) = 湿原と農業の共生)

サロベツの自然や文化を楽しむ活動の環を広げ、湿原と農業が共生する地域づくりを進めるためのプロジェクトである。



4) エコモー☆サポーター

「エコモー☆サポーター」は自然再生普及行動計画の3つの役割を基に、エコモープロジェクトを推進する。